

2人の「SP」資格取得者が誕生

「オートクチュール宝飾 サロンJ.C.BAR」

日本真珠振興会・真珠検定委員会(略称JPJS、倉本達委員長)は7月11日、神戸インドクラブ(神戸市中央区山本通1丁目)で第2回SP認定試験を実施し、4人が受験。「オートクチュール宝飾サロンJ.C.BAR」の嶋直樹氏が合格し、2人目の「SP(スペシャリスト)」資格取得者が誕生した。SPの受験資格

は販売経験3年以上かつS A(ジュニアアドバイザー)取得後3年以上の実績を持つ人で、SAとして最低3年間の学習姿勢を持って初めて得られ、実技試験と面接試験を経て、真珠スペシャリストに相応しい知識、経験・倫理・選別眼を併せ持つ人がSPとして認定登録される。

嶋氏は「2015年のS

A資格設立の際に、学ぶチャンスと捉え第一回講義を受けた思いに驚きました。以来、講して、真珠の奥深さと皆が身に着けることを目的

7月に神戸で認定試験実施



SA倫理講義



SP嶋直樹氏



SA実習



SP認定試験 面接



SA認定式



SP認定試験 実技

にSP取得を目指して学んできましたが、真珠が専業ではないため、想像以上に知識・技術習得に苦労しました。我が国が世界に誇る技術・文化である真珠産業に誇りを持ち、これまで以上に真珠の魅力を社会に伝えることこそが私が業界発展の一助となる道と信じ、邁進してまいります」

同日、同所では第10回S A検定講座も行われた。今回の講座からはeラーニングと組み合わせて、自主学習の上、WEBテストを合格した後、実習と倫理講義、認定式を受けられるかたちとなった。真珠の美しさの要素についての実験の後、倉本委員長からの特別講義「SA倫理講義」があり、認定式に出席した18人が振興会の大月京一會

は「既存SAからとても良いものだった」などの感想を述べた。新SAとなつたSA主催者によると、受講生は「既存SAからとても良いものだった」などの感想を述べた。

いから取得しておこべきと薦められた「倉本委員長の特別講義がためになつた」と講座の内容は販売に生かされるものだった」などの感想を話しているほか、自分が見つけて興味を持ったという受講者も増えており、SA検定講座の活用意義が感じられる結果となつた。